

月刊 あったかいご通信

月刊「あったかいご通信」を発行する土地活用研究会は、地域密着の建設会社が福祉施設の開業をサポートする全国50社の国内最大級のネットワークです。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営のコツ、利用者募集や人材マネジメントなどリクエストも大歓迎です！

※記事引用・厚生労働省・国土交通省・㈱官公通信社・高齢者住宅新聞社・福祉新聞・日本経済新聞 他

【発行元】

岐阜県福祉のまちづくり推進協議会
〒501-3246
関市緑ヶ丘2-5-78
TEL：0120-337-301
FAX：0575-24-5733

～墓場からゆりかごへ～ 増加する介護＋福祉の 複合型施設の最新モデル



※出典：高齢者住宅新聞「オーナーズテラスの施設外観」

今回は、介護＋福祉（保育）の施設の最新モデルをご紹介します。

【最新の複合型施設の事例】

一般社団法人HAHA(東京都)は昨年1月より、住宅型有料老人ホーム「オーナーズテラス自由が丘」(同)を運営を開始。同施設は子育て中のシングルマザー向けの子育てシェアハウスにもなっている。高齢者はシングルマザーから、簡単な生活サポートや見守りを受けることができる。

入居後、自宅活用支援も行っているのが1つの特徴。新築の木造3階建て一軒家の建物2棟から成る。総居室数は8室で、その内3室が子育てシェアハウス。月額賃料は周辺のファミリー向け賃貸の相場より低めに設定。シン

グルマザーが入居しやすくなっている。その分、高齢者に対して生活上の簡単なサポートを行うことが条件。「食事の際、予め準備された料理を高齢者の分も一緒に温めて提供する、などをしてもらいます」と伊藤敬子代表理事は話す。高齢者にとってはいつでも声を掛けられる若い世代の同居人の存在により、通常の住宅型有老より安心できる環境になっており、また、子育て中の母親は、同じ境遇の母親同士だけでなく、同居する高齢者にも子育てなどの相談ができる。相乗効果が期待できる。

同法人では、自宅のシェアハウス化支援と住まいを同時に提供するモデルを、「オーナーズテラス」モデルとして、全国への展開を目指す。オーナーズテラスは現在、2施設目の準備が進んでおり、2022年6月を目途に開設予定だ。

【弊社からのご案内】

全国的にも介護＋福祉の複合型施設の事例が増えてきており、地元密着の介護会社の参入も相次いでいます。今後更にこのようなモデルが増えることが想定されます。

弊社は、介護会社様の新規事業の開設をサポートさせていただきます。建物や土地に関するサポートはもちろん、運営面の立ち上げのフォローもさせていただきます。お気軽にご相談ください。